

産科婦人科	
診療科目：産科婦人科	
診療科担当研修責任者名： 吉原 弘祐（産科婦人科学教室教授）	
診療科連絡先担当者名： 工藤 梨沙（産科婦人科エデュケーションマネージャー）	
受入期間：4週間以上	同時受け入れ可能数：5人以内
◆◆学会認定専門医数◆◆	
日本産科婦人科学会専門医26人、日本臨床細胞学会細胞診専門医4人、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医5人、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医5人、日本生殖医学会生殖医療専門医2人、日本内視鏡外科学会技術認定医4人、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医6人、日本周産期・新生児医学会専門医（母体・胎児）4人、日本女性医学学会専門医1人、がん治療認定医8人	
◆◆学会認定指導医数◆◆	
日本産科婦人科学会指導医9人、日本周産期新生児医学会指導医2人、婦人科腫瘍指導医2人、超音波指導医1人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
新潟医科大学創設からの伝統のもと、婦人科良性・悪性腫瘍の治療、北陸有数の規模を誇る総合周産期母子医療センターにおけるハイリスク妊婦における妊娠・分娩管理および新生児管理、加えて不妊症、不育症、更年期などの専門領域を含んだ広い分野における研修が可能である。近年は、婦人科悪性腫瘍・良性腫瘍に対する腹腔鏡下手術、精巣内精子を用いた顕微授精、不育免疫療法・(赤字削除)母体血による胎児染色体検査(NIPT) など多岐にわたる先進的な診療を施行している。	主治医グループの一員として、積極的に診療に参加することを理念とする。 2週間ずつ産科と婦人科を研修し、以下の内容を到達目標としている。 ・産科：経膈分娩の立ち会いを4例、帝王切開術の助手を2例行う。 産科外来で胎児超音波を行う。 妊娠高血圧症例、切迫早産症例、多胎妊娠症例などを受け持つ。 ・婦人科：婦人科手術の助手を3例行う。 婦人科外来で内診、経膈超音波を行う。 子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの悪性疾患症例、および子宮筋腫・卵巣腫瘍などの良性疾患症例を受け持つ。 ・不妊症：不妊内分泌外来で不妊症検査を学ぶ。 また、火曜朝の術前検討会に参加する。